

尼崎市における石綿ばく露に係る症例対照研究調査について（案）

1. 趣旨

石綿ばく露者については、石綿ばく露の状況の違いによる石綿関連疾患の発生状況の比較等を行い、中長期的な健康管理の在り方を検討するための知見を集めることが重要である。

疫学調査には、①クロスセクショナルスタディ（横断調査）、②コホートスタディ（前向き追跡調査）、③ケースコントロールスタディ（症例対照調査）があり、これまで、平成21年度までのリスク調査において①を実施し、平成22年度からの第2期リスク調査において②を実施しているところであり、知見の収集に努めているところ。

今般、尼崎市において、石綿関連疾患（中皮腫）の死亡者と対照群について、職歴、居住歴等の石綿ばく露に関する状況の比較を行う（ケースコントロールスタディ）ことにより、石綿ばく露の形態による石綿関連疾患発症リスクを評価していくことを目的とする。

2. 調査の実施について

調査は、環境省が専門家の意見を聞きながら今後検討する。